



応徳の湯

黒い湯の花が咲く 応徳温泉「お宿 花まめ」

群馬県北西部にある中之条町六合地区。北に野反湖、西に芳ヶ平湿原の大自然が広がり、南北に流れる白砂川の谷あいに集落が点在する広大な山里です。白砂川と長笹沢川沿いに4つの温泉が湯煙をあげる六合の里温泉郷があり、その一つが応徳温泉。平安時代の応徳年間に旅人が見つけたと伝わる古い湯ですが、昔は湯治に利用されることは少なく、草履やむしろの材料となるスゲという草を浸して柔らかくする「スゲし湯」に使われていました。

温泉旅館が開かれたのは江戸時代の終わり頃。隣の草津温泉を訪れる全国からの湯治客が草津帰りに立ち寄り、大繁盛します。江戸時代には、草津の強い酸性の湯で荒れた肌をアルカリ性の湯で癒す習慣があり、応徳温泉は四万や沢渡の湯などと共に「草津のあがり湯」とよばれました。



お宿 花まめ

そんな歴史ある応徳の湯を今に伝えるのが「お宿花まめ」。「道の駅六合」の中にある温泉旅館です。もとは旧六合村が運営する宿泊施設「六合山荘」でしたが、平成17年に築130年の古民家を移築して現在

の宿にリニューアルし、その後、民間に引き継がれました。玄関をくぐると、そこは風格のある黒い梁と柱に囲まれた「民家棟」。座敷を奥に進むと、コンクリート打ちっぱなしのモダンな「山荘棟」が続いています。ほべたんはさっそく、浴室へー湯船には、硫黄の香る白い濁り湯。よく見ると白い湯花に混ざって、珍しい黒い湯花が舞っています。湯花の量は日によって変動し、湯が墨色になることもあるそうです。



ほべたん 応徳温泉へ!

かつて養蚕業で栄えた場所です。幕末から昭和30年代に建てられた養蚕農家群が大切に維持され、平成18年、重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。昔ながらの山村風景が残る集落の小道を歩けば、茅葺き屋根のお堂や古い蔵、優しいお顔の道祖神などが次々と現れ、訪れる人を楽しませています。



民家棟の天井



赤岩集落

編集だより

六合から中之条町中心部へ向かう途中、暮坂峠の手前に素敵な庭園を見つけました。標高1000mの山に六合の自然に溶けこむようなナチュラルガーデンが広がり、のびのびと育つ季節の草花や愛らしい虫たちに出会えます。レストハウスのショップで販売する、ナチュラルドライフラワーや雑貨も人気です。



中之条山の上庭園

住所…吾妻郡中之条町大字入山森口 4046-2
営業時間…9:00~17:00
定休日…無休(12月末~3月末は休園)
TEL…0279-80-7123



お宿 花まめ
住所: 吾妻郡中之条町大字小南21-1
定休日: 月・火・水曜
TEL: 0279-95-3650

※次回8月号の「ほっと&WALK」はお休みです。

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。
※一部取材先より画像をお借りしています。

宅配ではお届けしている全てのカタログを回収しリサイクルしています。ご不要の場合は、担当者へ「担当者へ返すか配達器材に入れてお戻しください。」